

# 2021年3月期第2四半期 決算説明資料



写真：福井工場

2020年11月12日

**デンヨー株式会社**

2021年3月期  
第2四半期決算概要

# 2021年3月期第2四半期実績ハイライト（連結）

## ポイント

売上高および利益とも、前年同期を下回る。

（単位：百万円）

	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
連結売上高	30,176	100%	25,346	100%	△ 4,829	△ 16.0%
営業利益	2,649	8.8%	2,014	7.9%	△ 635	△ 24.0%
経常利益	2,646	8.8%	2,167	8.5%	△ 479	△ 18.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,828	6.1%	1,442	5.7%	△ 386	△ 21.1%
設備投資	741		906		165	22.3%
減価償却費	579		528		△ 51	△ 8.8%
1株当り四半期純利益	87.22円		69.17円		△ 18.05円	△ 20.7%
R O E	6.8%	年換算	5.0%	年換算		
1株当り中間配当金	22.0円		22.0円			

# 製品別売上高の動向（連結）

## 概況

1. 発電機は 4,094百万円(16.9%)の減少。
2. 溶接機は 227百万円(9.4%)の減少。
3. コンプレッサは 88百万円(17.2%)の減少。

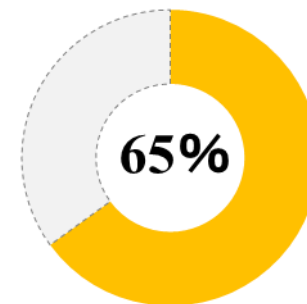
(単位:百万円)

		2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
連結売上高		30,176	100%	25,346	100%	△ 4,829	△ 16.0%
製品別	発電機	24,167	80.1%	20,072	79.2%	△ 4,094	△ 16.9%
	溶接機	2,434	8.1%	2,206	8.7%	△ 227	△ 9.4%
	コンプレッサ	512	1.7%	424	1.7%	△ 88	△ 17.2%
	その他	3,061	10.1%	2,642	10.4%	△ 418	△ 13.7%

# エンジン発電機（連結）

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
発電機	24,167 <sup>百万円</sup>	20,072 <sup>百万円</sup>	△ 16.9 <sup>%</sup>

- 国内は、レンタル市場向け可搬形発電機が低調。防災用発電機は堅調に推移。
- 海外は、コロナ禍の影響もあり、米国向けを中心に大幅減。



可搬式エンジン発電機の国内シェア  
※当社調べによる（5年平均）



静音発電機 マーリエ



縦型極小スペース  
非常用発電装置機

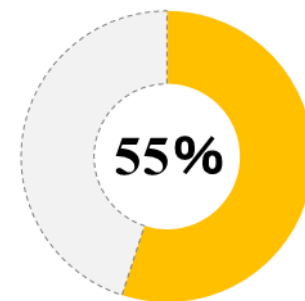
1kVAから1100kVA までのエンジン発電機を製造

- 可搬形発電機  
建設現場、土木工事、災害復旧・復興などの動力源
- 非常用発電機（定置形）  
防災設備やオフィスなどのバックアップ電源
- 電源車など

# エンジン溶接機（連結）

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
溶 接 機	2,434 <sup>百万円</sup>	2,206 <sup>百万円</sup>	△ 9.4%

- 特殊溶接機が増加するも、小型溶接機が減少。



エンジン溶接機の国内シェア  
※当社調べによる（5年平均）



炭酸ガス溶接機

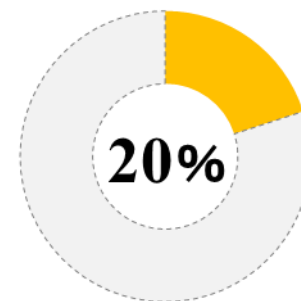
屋外作業の溶接機として当社が日本で初めて開発  
軽量鉄骨溶接用の135Aから重量鉄骨溶接用の500Aエンジン溶接機、  
およびTIG溶接機、炭酸ガス溶接機など

- ビルやマンション、橋梁などの鉄骨構造物の溶接
- 石油備蓄タンク、パイプラインなどの重要構造物の溶接

# エンジンコンプレッサ（連結）

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
コンプレッサ	512 <sup>百万円</sup>	424 <sup>百万円</sup>	△ 17.2 <sup>%</sup>

- 国内向けを中心に減少。



エンジンコンプレッサの国内シェア

※当社調べによる（5年平均）



エンジンコンプレッサ



モータコンプレッサ

吐出空気量1.7<sup>m<sup>3</sup>/min</sup>から45.3<sup>m<sup>3</sup>/min</sup>まで製造

- 道路工事のはつり作業、地盤改良工事
- 山岳道路の土砂崩れ防止のモルタル吹き付け工事
- スキー場の人工降雪機用など

# そ の 他（連結）

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
そ の 他	3,061 <sup>百万円</sup>	2,642 <sup>百万円</sup>	△ 13.7 <sup>%</sup>

- 高所作業車や商品売上等が減少。

## その他の売上

- 高所作業車
- 負荷試験装置
- 部品売上
- 中古機や仕入商品売上
- 修理売上など



高所作業車



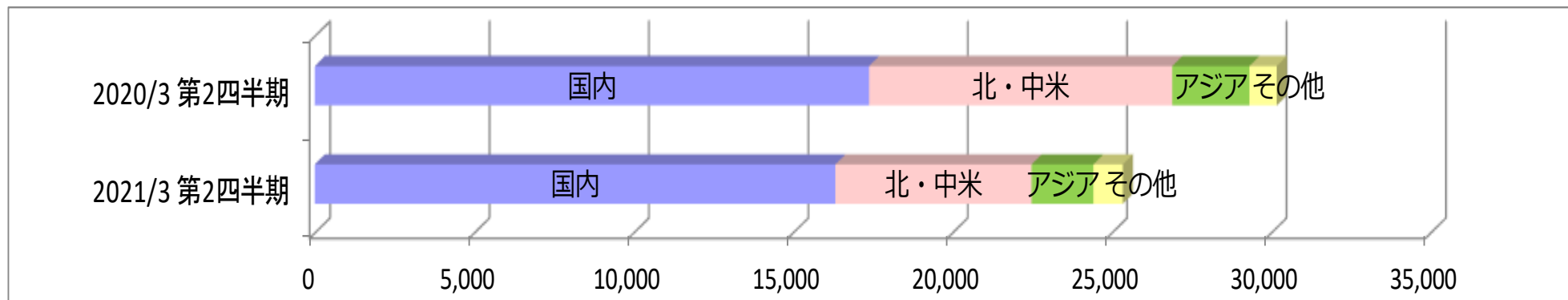
負荷試験装置



# 地域別売上高の動向（連結）

（単位：百万円）

		2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
連結売上高		30,176	100%	25,346	100%	△ 4,829	△ 16.0%
国内売上高		17,386	57.6%	16,329	64.4%	△ 1,057	△ 6.1%
海外売上高		12,789	42.4%	9,017	35.6%	△ 3,772	△ 29.5%
地域別	北・中米	9,509	31.5%	6,156	24.3%	△ 3,353	△ 35.3%
	アジア	2,423	8.0%	1,938	7.6%	△ 484	△ 20.0%
	その他	856	2.8%	921	3.6%	65	7.6%



# 営業利益増減の要因分析

## 営業利益減

営業利益は、主に売上減にともない減少。

(単位:百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年同期比 増減
営業利益	2,649	2,014	△ 635
営業利益率	8.8%	7.9%	△ 0.9ポイント

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前年同期比 増減
売上総利益率	23.2%	23.0%	△ 0.2ポイント
売上高販管費比率	14.4%	15.0%	0.6ポイント
売上高営業利益率	8.8%	7.9%	△ 0.9ポイント

- 売上総利益率は、売上高が大幅減少するも、比較的収益性の高い製品の構成比率上昇により0.2ポイントの低下にとどまる。
- 売上高販管費比率は、販管費額は減少するも、売上高の大幅減少により上昇。

# 連結貸借対照表

## 概要

1. 流動資産 1,577百万円の減少は、主に売上債権などの減少による。
2. 流動負債 706百万円の減少は、主に仕入債務などの減少による。

(単位:百万円)

	2020年3月期 期末	2021年3月期 第2四半期	前期末比 増減額
流動資産	52,932	51,354	△ 1,577
固定資産	22,694	23,392	698
資産合計	75,626	74,747	△ 879
流動負債	14,252	13,546	△ 706
固定負債	3,019	1,877	△ 1,141
負債合計	17,272	15,423	△ 1,848
純資産合計	58,354	59,323	969
負債純資産合計	75,626	74,747	△ 879

# 連結キャッシュ・フローの推移

## 概要

1. 営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少などにより、1,961百万円。
2. 現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ 217百万円増加。

(単位:百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,842	1,961
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 446	△ 1,003
I + II フリー・キャッシュ・フロー	3,396	958
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 758	△ 602
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 55	△ 137
V 現金及び現金同等物の増減額	2,581	217
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	18,752	21,272

2021年3月期の見通し

# 2021年3月期予想～連結損益の見通し

## ポイント

- ・新型コロナウイルスの感染症拡大の影響を織り込み、業績予想を修正。
- ・為替レートは105円/ドルを想定。

(単位:百万円)

	2020年3月期		2021年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高	62,887	100%	52,000	100%	△ 10,887	△ 17.3%
営業利益	6,057	9.6%	4,100	7.9%	△ 1,957	△ 32.3%
経常利益	6,202	9.9%	4,400	8.5%	△ 1,802	△ 29.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,071	6.5%	2,800	5.4%	△ 1,271	△ 31.2%
設備投資	1,201		2,000		799	66.5%
減価償却費	1,162		1,250		88	7.6%
1株当り当期純利益	194.3円		134.3円		△ 60.0円	△ 30.1%
R O E	7.4%		*5.0%			
1株当り配当金(円)	46.0円		46.0円			

\*自己資本は前期末の金額で計算

# 製品別売上高の見通し（連結）

## 概況

- ・前期大幅に伸長した反動およびコロナ禍の影響により、米国向け発電機の大幅減少を見込む。
- ・国内は、レンタル市場向け発電機の減少を見込む。

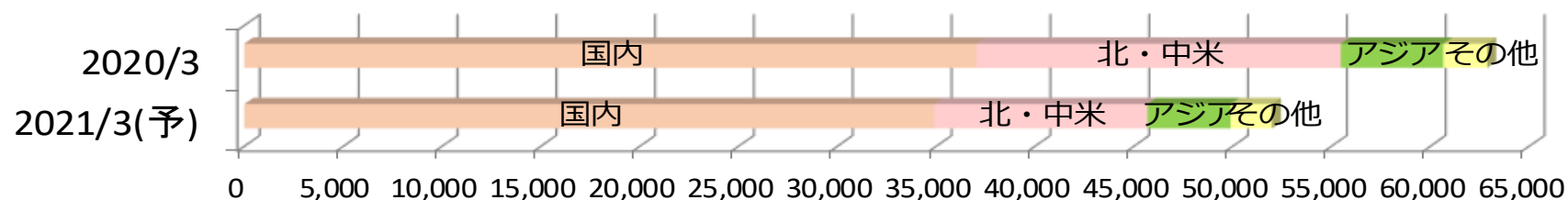
（単位：百万円）

		2020年3月期		2021年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		62,887	100%	52,000	100%	△ 10,887	△ 17.3%
製品別	発電機	50,436	80.2%	41,700	80.2%	△ 8,736	△ 17.3%
	溶接機	5,072	8.1%	4,300	8.3%	△ 772	△ 15.2%
	コンプレッサ	1,012	1.6%	900	1.7%	△ 112	△ 11.1%
	その他	6,365	10.1%	5,100	9.8%	△ 1,265	△ 19.9%

# 地域別売上高の見通し（連結）

（単位：百万円）

		2020年3月期		2021年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
連結売上高		62,887	100%	52,000	100%	△ 10,887	△ 17.3%
国内売上高		37,043	58.9%	34,900	67.1%	△ 2,143	△ 5.8%
海外売上高		25,844	41.1%	17,100	32.9%	△ 8,744	△ 33.8%
地域別	北・中米	18,430	29.3%	10,800	20.8%	△ 7,630	△ 41.4%
	アジア	5,197	8.3%	4,200	8.1%	△ 997	△ 19.2%
	その他	2,216	3.5%	2,100	4.0%	△ 116	△ 5.2%





# 営業利益予想の内容

## 営業利益減

主に売上高の減少により、営業利益1,957百万円の減少を見込む。

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期(予)	前期比
営業利益	6,057	4,100	△ 1,957
営業利益率	9.6%	7.9%	△ 1.7ポイント

	2020年3月期	2021年3月期(予)	前期比増減
売上総利益率	23.2%	23.0%	△ 0.2ポイント
売上高販管費比率	13.6%	15.1%	1.5ポイント
売上高営業利益率	9.6%	7.9%	△ 1.7ポイント

- 売上総利益率は、売上高が減少するも、比較的収益性の高い製品の需要は堅調に推移すると見込み、0.2%程度の低下にとどまる。
- 売上高販管費比率は、販管費は減少するも、売上高の大幅減より上昇を見込む。

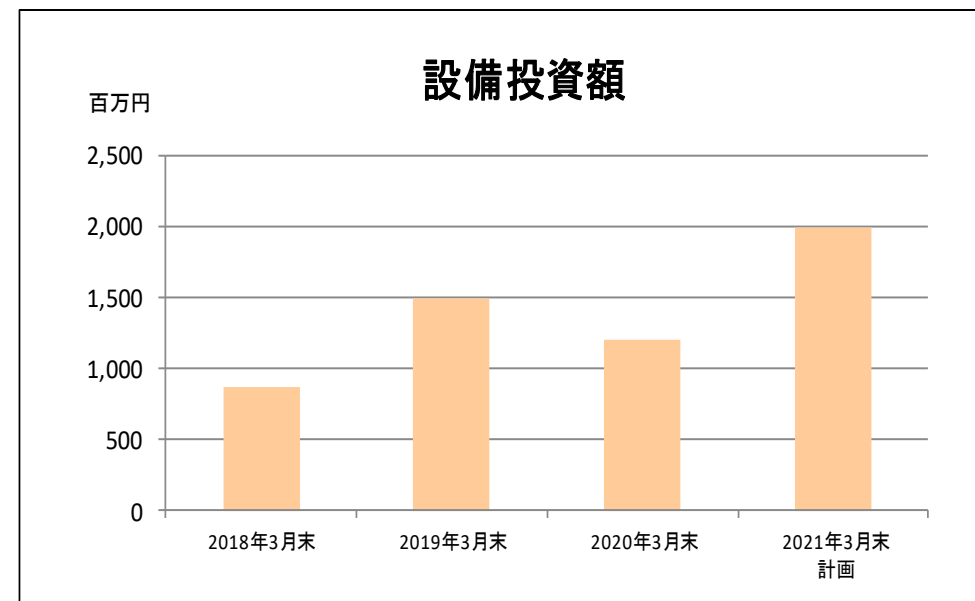
# 設備投資額の推移

(単位:百万円)

	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末 計画
設備費	870	1,499	1,201	2,000
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井機械等 310</li> <li>・ニシハツ 50</li> <li>・アメリカ工場 450</li> <li>・ベトナム工場 20</li> <li>・その他 40</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井機械等 730</li> <li>・ニシハツ 50</li> <li>・アメリカ工場 670</li> <li>・その他 40</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井機械等 810</li> <li>・ニシハツ 20</li> <li>・アメリカ工場 290</li> <li>・ベトナム工場 10</li> <li>・その他 70</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井機械等 1,600</li> <li>・ニシハツ 50</li> <li>・アメリカ工場 150</li> <li>・ベトナム工場 80</li> <li>・その他 120</li> </ul>



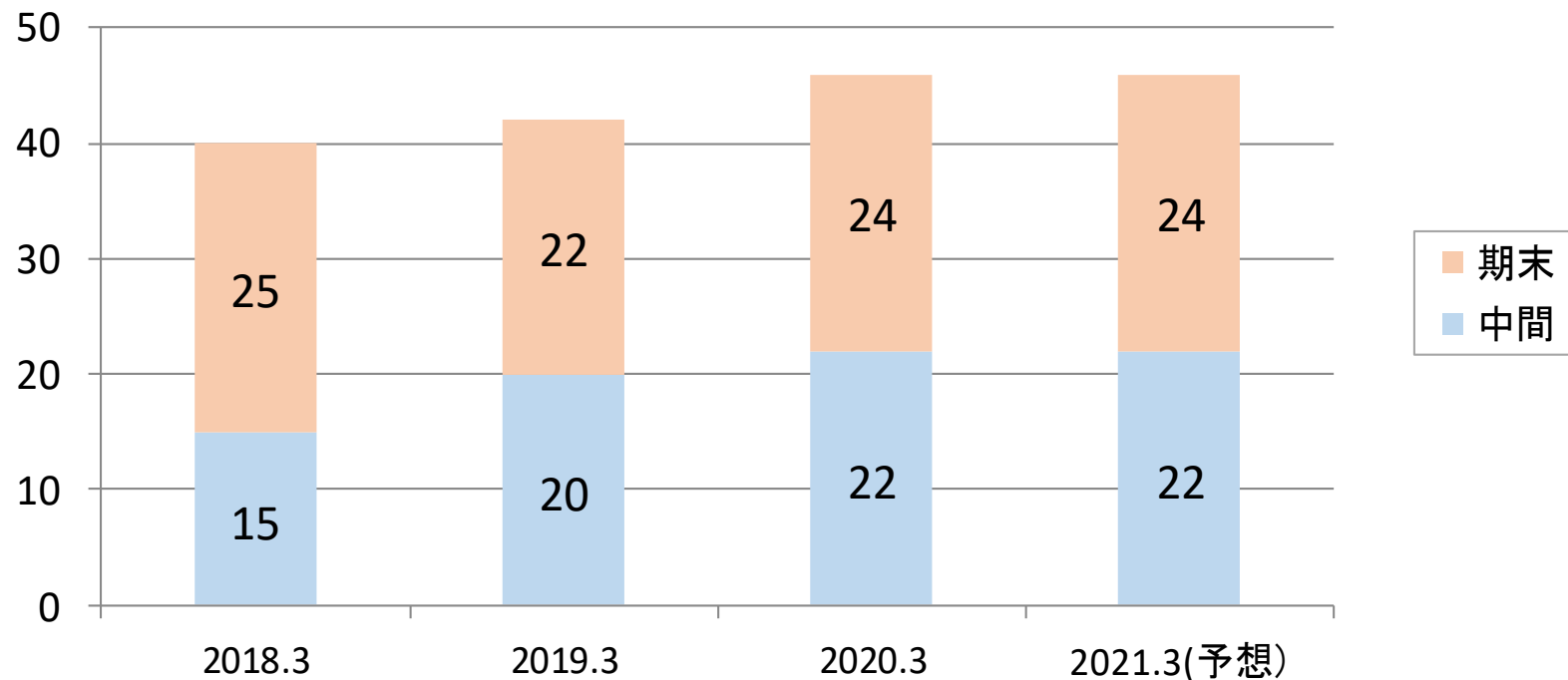
Denyo Manufacturing Corporation (U.S.A.)



# 利益配分の方針

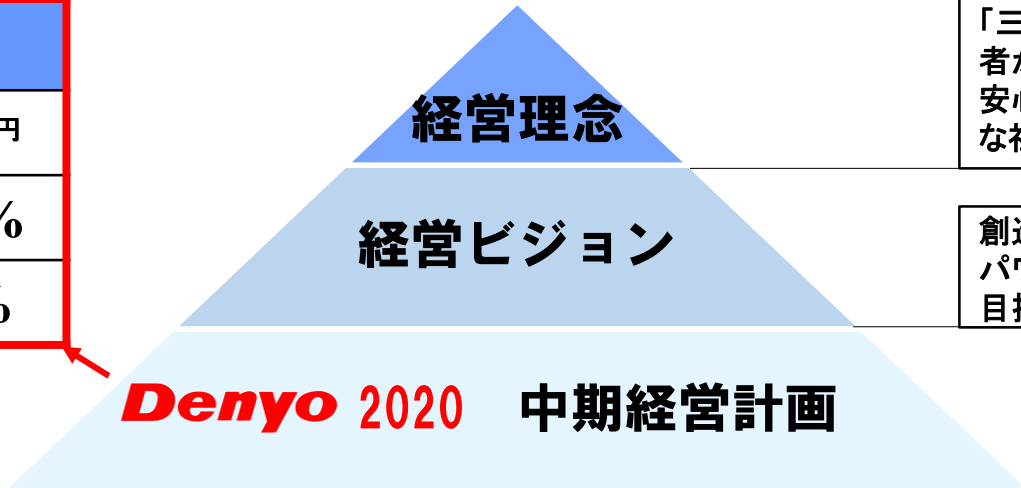
利益配分: 収益力の向上と財務体質の強化に努めながら、株主の皆様に対する利益の還元をより充実していくことが重要と認識し、業績や配当性向などを総合的に勘案した成果配分を実施

(配当金の推移 19年3月期 42円 ⇒ 20年3月期 46円 ⇒ 21年3月期 46円予想)



# 中期経営計画の概要

2020年度・経営目標	
連結売上高	580億円
経常利益率	11.0%
ROE	7.0%



「三者の得」(使う人、売る人、造る人、三者がともに繁栄すること)を踏まえ、安全・安心なパワースOURCEの提供を通じて、豊かな社会造りに貢献する

創造力と不断の技術革新を通じて、高品質パワースOURCEのグローバルNo1ブランドを目指す

## 基本方針

建設関連分野における高品質パワースOURCEのトップランナーとしての地位を堅持しつつ、建設関連以外および海外向けの比率を高め、環境変化に強い収益構造を実現する

## 国内市場戦略

- 建設関連事業**
  - ◇ 営業体制の見直しや、顧客ニーズを踏まえた新製品開発を着実に推進しシェア確保を図る
- 建設関連以外の事業**
  - ◇ ニシハツ株式会社との連携強化を通じたグループ営業体制の見直しと、総合提案型営業強化によるシェア拡大を目指す

## 海外市場戦略

- 海外事業**
  - ◇ アジアは今後拡大が見込まれるレンタル市場を含め積極的に対応。アジア・その他地域(欧州、中近東等)を含め、販売力・サービス力強化を推進。米州は現地代理店との連携を強化
  - ◇ ターゲット市場が求める仕様の確認、アジア・中近東地域における定置形発電機の生産販売体制の確立を図る
  - ◇ 溶接機については、ターゲット市場が求める製品ラインアップ充実、メンテナンス性の高い製品の開発に注力する

## 経営基盤の強化

- 開発**
  - ◇ 市場ニーズを的確に捉え、競争力のある製品開発を迅速に行う。国内外定置形発電機への対応強化
- 生産**
  - ◇ 最適地生産を一層推進し、高品質の製品供給・原価低減・納期短縮を図る
- 人材育成**
  - ◇ 教育体制の一層の拡充、特にグローバル人材の育成に注力する

# 見通しに関する注意事項

---

この資料には、2020年11月12日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれています。  
今後の経済変動、競合状況などにより、実際の業績が予測と大幅に異なる可能性があります。

あくまでも、情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。  
投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

当社のIRに関するお問い合わせ先

経営企画室 田辺・後藤  
電話：03-6861-1178  
FAX：03-6861-1185

# 參考資料

# 当社の概要

## エンジン発電機、エンジン溶接機など野外パワースーツのトップメーカー

沿革：	1948年7月2日	「日本電機溶接機材株式会社」として設立
	1959年	我が国初の高速エンジン溶接機を開発、発売
	1961年	エンジン発電機の生産、販売開始
	1966年	防音型開発
		デンヨー株式会社に社名変更
	1983年	東証二部上場
	2000年	東証一部上場

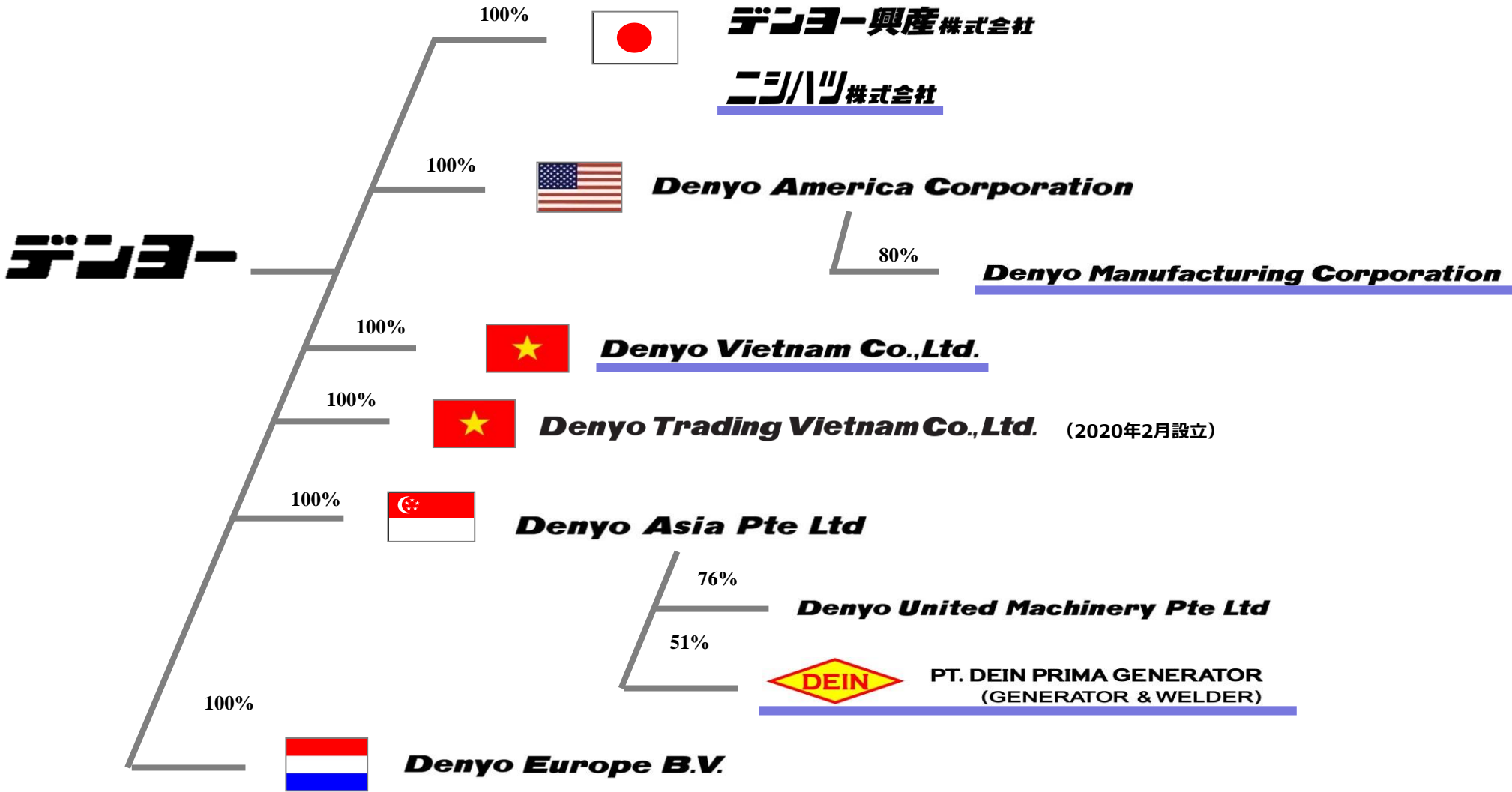
### 会社規模など（2020/3期・連結ベース）

（単位：百万円）

売上高	62,887
うち海外売上高	25,844
経常利益	6,202
親会社株主に帰属する当期純利益	4,071
総資産	75,626
純資産	58,354
時価総額（3/31時点）	44,005
従業員数	1,370人



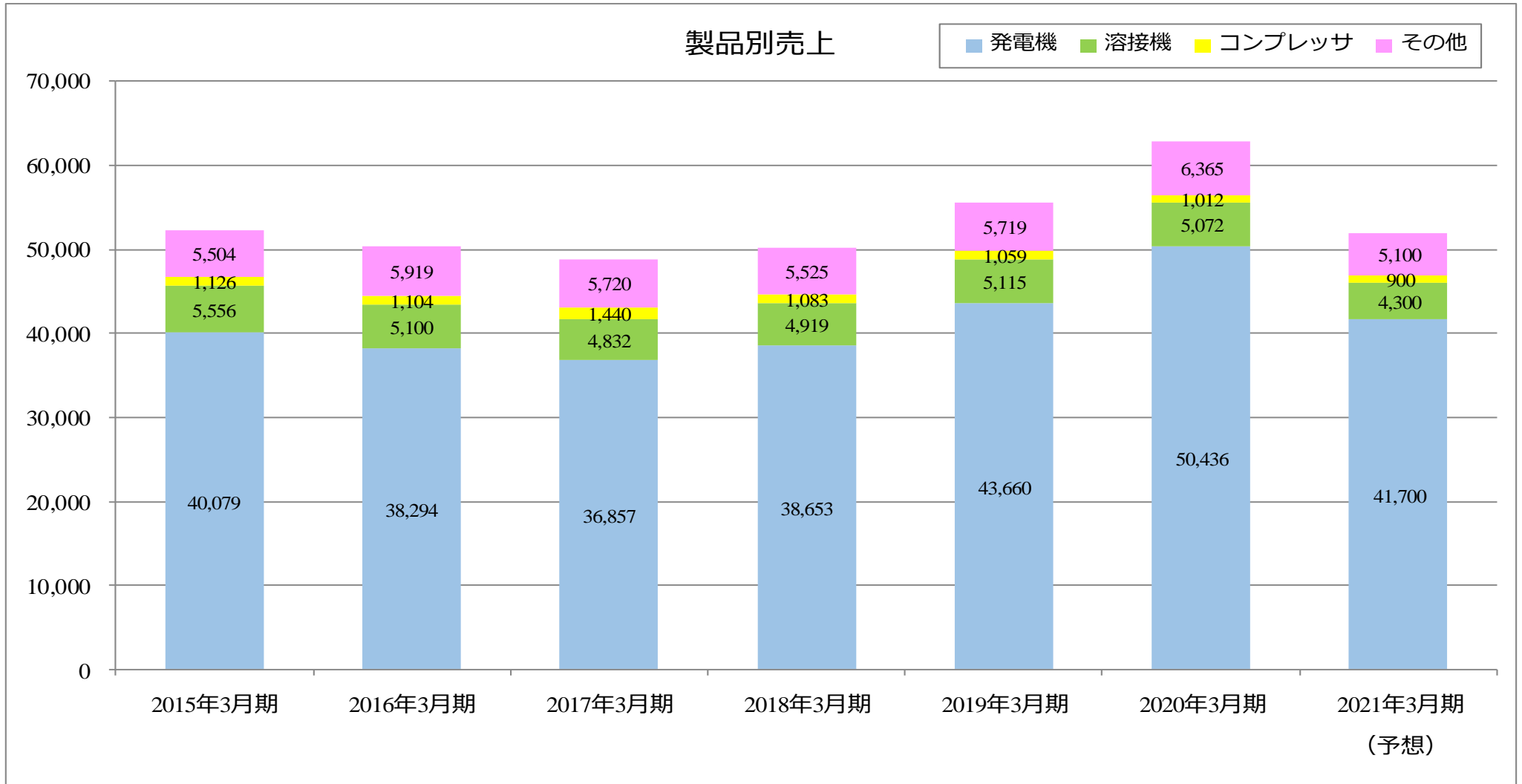
本社（日本橋堀留町）



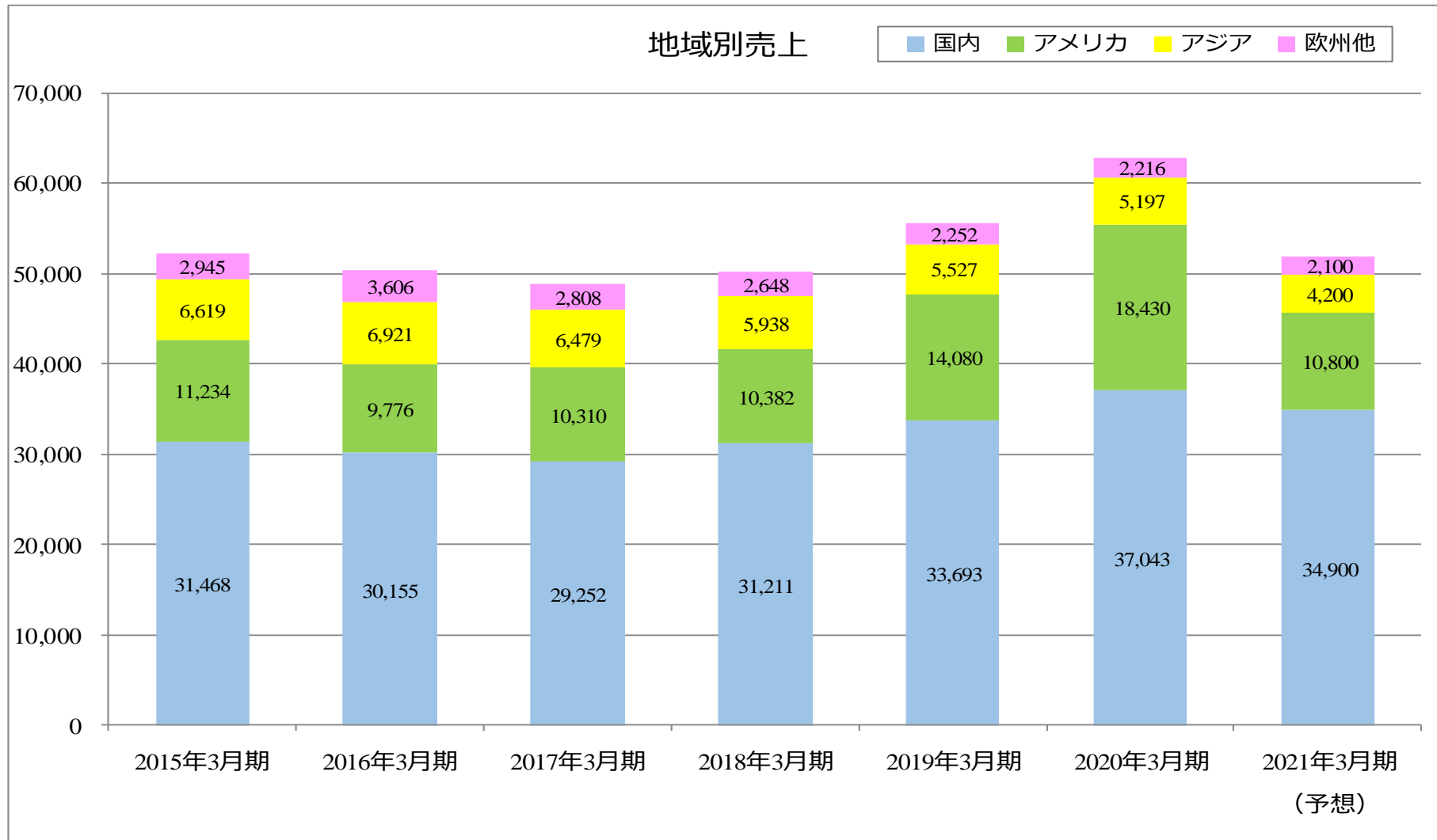
\* 1.この他に持分法適用の関連会社「新日本建販(株)」(出資比率15.7%)があります。  
 2.下線の引いてある会社は製造会社となります。



# 製品別推移と予想



# 地域別推移と予想



# 過去30年間の業績の推移

